

# 第1巻 ITコーディネータ概要

- 1 ITコーディネータとは
- 2 ITコーディネータのバイブル「IT経営プロセス」概要
- 3 ITコーディネータのサービスと必要な専門知識
- 4 知識の習得方法と資格認定（ITCに求められる実践力）

## 第1巻 目 次

<b>第1章</b>	<b>ITコーディネータとは</b>	001
1.1.1	ITコーディネータ制度とは	002
1.	ITC制度設立経緯——国家プロジェクトの一環として	
2.	ITCの使命	
3.	ITC資格認定制度	
4.	ITC制度の展開	
5.	ITコーディネータの人材像	
6.	ITコーディネータに求められる実践力	
1.1.2	「IT経営を実現するプロフェッショナル」への期待	019
1.	社会からの期待	
2.	新しいITサービス市場の創出	
3.	CIOおよび企業内ITプロフェッショナル	
4.	ITコーディネータの幅広い役割	
5.	ITコーディネータの業務	
<b>第2章</b>	<b>ITコーディネータのバイブル「IT経営プロセス」概要</b>	031
1.2.1	IT経営とは	032
1.	IT経営プロセス	
2.	IT経営の成熟度	
3.	IT経営プロセスのモデル化	
1.2.2	IT経営認識プロセス概要	040
1.	変革認識フェーズ	
2.	是正認識フェーズ	
3.	持続的成長認識フェーズ	
1.2.3	IT経営実現プロセス概要	046
1.	経営戦略フェーズ	
2.	IT戦略策定フェーズ	
3.	IT資源調達フェーズ	
4.	IT導入フェーズ	
5.	ITサービス活用フェーズ	
1.2.4	IT経営共通プロセス概要	057
1.	プロセス&プロジェクトマネジメント	
2.	モニタリング&コントロール	
3.	コミュニケーション	
1.2.5	実現プロセスで行うITCのサービス	063

**第3章** ITコーディネータのサービスと必要な専門知識 067

1.3.1	ITコーディネータのサービスの全体像と専門知識	068
1.	IT経営を実現するスーパーコンサルタント	
2.	ITコーディネータのサービスの基本的考え方	
3.	ITコーディネータのサービスイメージの全体像	
1.3.2	ITに関するちょっと相談	072
1.	企業とITコーディネータの出会い	
2.	現在の「ちょっと相談」とこれから	
3.	ITに関する「ちょっと相談」の実際と必要な知識	
1.3.3	IT経営に関する顧問（年間顧問契約）	075
1.	ホームドクターとしてのIT経営に関する顧問	
2.	現在のIT経営に関する顧問とこれから	
3.	IT経営に関する顧問の実際と必要な知識	
1.3.4	IT経営に関する専任アドバイザー	078
1.	これからのサービスイメージとしてのアドバイザー	
2.	IT経営に関する専任アドバイザーに必要な知識	
1.3.5	IT経営マネジャー	081
1.	経営者とともにIT経営を実現する	
2.	IT経営マネジャーに必要な知識	

**第4章** 知識の修得方法と資格認定（ITCに求められる実践力） 085

1.4.1	ITCに求められる実践力	086
1.4.2	ITCの実践力を決定づける7つの視点	095
1.4.3	前提知識と基礎知識	097
1.	前提知識の修得	
2.	専門知識の修得	
1.4.4	知識の修得方法	105
1.	受験者の分類	
2.	一般向け学習アプローチ	
3.	経営系学習アプローチ	
4.	IT系学習アプローチ	
1.4.5	ITコーディネータになるには	119
1.	ITコーディネータの認定	
2.	資格の維持およびITコーディネータの認定	

用語索引	128
------	-----

## 第2巻 IT経営認識プロセス

- 1 変革認識フェーズ
  - 2 是正認識フェーズ
  - 3 持続的成長認識フェーズ
- 巻末資料

## 目 次

<b>第1章</b>	<b>変革認識フェーズ</b>	<b>001</b>
2.1.1	変革認識フェーズの概要	002
	1. 目的      2. 位置づけ      3. 定義      4. I Tコーディネータの役割	
2.1.2	変革認識フェーズの基本原則	009
	1. 変革認識3 Aの原則      2. 経営者の思いの形式知化の原則	
	3. 変革のための情報共有・知識集約の原則      4. 戦略経営サイクルの原則	
	5. I T経営の成熟度の原則      6. 構想化の原則	
2.1.3	変革認識フェーズのプロセス	017
	1. 変革のための企業体質の確立      2. I T経営の気づき      3. 課題／解決策の可視化	
	4. 変革に対するコミットメント	
<b>第2章</b>	<b>是正認識フェーズ</b>	<b>033</b>
2.2.1	是正認識フェーズの概要	034
	1. 目的      2. 位置づけ      3. 定義      4. I Tコーディネータの役割	
2.2.2	是正認識フェーズの基本原則	038
	1. 是正認識3 Aの原則      2. モニタリング&コントロール活用の原則	
	3. 是正のための情報共有・知識集約の原則	
2.2.3	是正認識フェーズのプロセス	042
	1. 是正のための企業体質の確立      2. 是正の気づき      3. 課題／解決策の可視化	
	4. 是正に対するコミットメント	
2.2.4	I T経営実現プロセスの並列実施	056
	1. 経営戦略フェーズ      2. I T戦略策定フェーズ	
	3. I T資源調達フェーズ      4. I T導入フェーズ      5. I Tサービス活用フェーズ	
2.2.5	I T経営共通プロセスの並列実施	067
	1. プロセス&プロジェクトマネジメント      2. モニタリング&コントロール	
	3. コミュニケーション	

<b>第3章</b>	<b>持続的成長認識フェーズ</b>	073
------------	--------------------	-----

2.3.1	持続的成長認識フェーズの概要	074
	1. 目的      2. 位置づけ      3. 定義      4. I Tコーディネータの役割	
2.3.2	持続的成長認識フェーズの基本原則	076
	1. 持続的成長認識3 Aの原則      2. 経営の成熟度向上の原則	
	3. 継続的なI T化改善・改革の原則      4. 持続的成長のための情報共有・知識集約の原則	
2.3.3	持続的成長認識フェーズのプロセス	080
	1. 持続的成長のための企業体質の確立      2. 持続的成長の気づき      3. 課題／方向性の可視化	
	4. 持続的成長に対するコミットメント	

# 第3巻 実現プロセスⅠ

## 経営戦略

- 1 経営戦略フェーズ
- 2 経営戦略フェーズのプロセス
- 3 経営戦略フェーズにおける共通知識
- 4 ITCに求められる知識とキーワード

## 目 次

<b>第1章</b>	<b>経営戦略フェーズ</b>	<b>001</b>
3.1.1	経営戦略フェーズの重要性	002
	1. はじめに      2. 経営戦略の原点	
3.1.2	経営戦略フェーズの基本原則	006
	1. 基本原則	
3.1.3	経営戦略フェーズの概要	031
	1. 目的      2. 位置づけ      3. 要約      4. I T C の役割	
<b>第2章</b>	<b>経営戦略フェーズのプロセス</b>	<b>035</b>
3.2.1	経営戦略フェーズのプロセス	036
	1. プロセス      2. アクティビティ	

### 第3章 経営戦略フェーズにおける共通知識

091

- 3.3.1 経営戦略フェーズにおけるプロジェクトマネジメント 092
  - 1. プロジェクトマネジメントのテーマ
  - 2. 経営戦略フェーズにおけるプロジェクト体制と管理
  - 3. 経営戦略フェーズにおける重要なコントロールポイント
- 3.3.2 経営戦略フェーズにおけるモニタリング&コントロール 100
  - 1. モニタリング&コントロールの概要および重要性
  - 2. モニタリング&コントロールのポイント
  - 3. モニタリング&コントロールの実施方法
- 3.3.3 経営戦略フェーズにおけるコミュニケーション 109
  - 1. プロジェクトコミュニケーションテーマ
  - 2. コミュニケーションマネジメント
  - 3. 当フェーズにおけるコミュニケーションのポイント
  - 4. ITコーディネータに必要な行動やスキル
  - 5. コミュニケーションの成果物

### 第4章 ITCに求められる知識とキーワード

117

- 1. ABC (活動基準原価計算)
- 2. CSF/KPI/KGI
- 3. CSOとCIO
- 4. バランススコアカード (BSC)
- 5. SWOT分析
- 6. 5つの競争要因 (5F分析)
- 7. インフルエンスダイアグラム
- 8. 外部環境分析 (マイクロ環境)
- 9. 外部環境分析 (マクロ環境)
- 10. 内部環境分析
- 11. 業界ポジショニング分析
- 12. コアコンピタンス
- 13. ゴール
- 14. 成熟度モデル
- 15. 簡易アセスメント
- 16. バリューチェーンモデル
- 17. ビジネスモデル
- 18. ミッション
- 19. ビジョン
- 20. 事業ドメイン

# 第4巻 実現プロセス II

## IT戦略策定

- 1 IT戦略策定フェーズ
- 2 IT戦略策定フェーズのプロセス
- 3 IT戦略策定フェーズにおける共通知識
- 4 ITCに求められる知識とキーワード

## 目 次

<b>第1章</b>	<b>I T戦略策定フェーズ</b>	<b>001</b>
4.1.1	I T戦略策定フェーズの重要性	002
	1. I T戦略策定フェーズの位置づけ	
	2. なぜ中堅・中小企業に「I T戦略」が必要なのか？	
	3. 経営戦略の実現を左右するI T戦略	
	4. I T戦略と社内の合意	
	5. I T戦略策定と経営（プロセス）改革の整合	
	6. I T戦略には何が述べられていなければならないか	
4.1.2	I T戦略策定フェーズの基本原則	009
	1. フェーズ共通基本原則	
	2. 基本原則	
4.1.3	I T戦略策定フェーズの概要	023
	1. 目的	
	2. 位置づけ	
	3. 要約	
	4. I T Cの役割	
<b>第2章</b>	<b>I T戦略策定フェーズのプロセス</b>	<b>027</b>
4.2.1	I T戦略策定フェーズのプロセス	028
	1. プロセス	
	2. アクティビティ	
<b>第3章</b>	<b>I T戦略策定フェーズにおける共通知識</b>	<b>073</b>
4.3.1	I T戦略策定フェーズにおけるプロセス&プロジェクトマネジメント	074
	1. プロジェクトマネジメントのテーマ	
	2. I T戦略策定フェーズにおけるプロジェクト体制と管理	
	3. I T戦略策定フェーズにおける重要なコントロールポイント	
4.3.2	I T戦略策定フェーズにおけるモニタリング&コントロール	081
	1. モニタリング&コントロールの概要および重要性	
	2. モニタリング&コントロールのポイント	
	3. モニタリング&コントロールの実施方法	
4.3.3	I T戦略策定フェーズにおけるコミュニケーション	090
	1. プロジェクトコミュニケーションテーマ	
	2. コミュニケーションマネジメント	
	3. I T戦略策定フェーズにおけるコミュニケーションのポイント	
	4. I Tコーディネータに必要な行動やスキル	
	5. コミュニケーションの成果物	
	6. 適用すべきプロジェクトコミュニケーションの基本原則	

1. BPR
2. CRM
3. IFAC
4. ITガバナンス
5. RASIS
6. SCM
7. エンタープライズガバナンス
8. コンテキストダイアグラム
9. 情報リテラシー
10. ステアリングコミッティ
11. セキュリティポリシー

# 第5巻 実現プロセス III

## IT資源調達

- 1 IT資源調達フェーズ
- 2 IT資源調達フェーズのプロセス
- 3 IT資源調達フェーズにおける共通知識
- 4 ITCに求められる知識とキーワード

## 目 次

<b>第1章</b>	<b>I T資源調達フェーズ</b>	<b>001</b>
5.1.1	I T資源調達フェーズの重要性	002
	1. I T資源調達の重要性      2. I T資源調達の課題	
5.1.2	I T資源調達フェーズの基本原則	008
	1.フェーズ共通基本原則      2.固有の基本原則	
5.1.3	I T資源調達フェーズの概要	015
	1. 目的      2. 位置づけ      3.要約      4. I T Cの役割	
<b>第2章</b>	<b>I T資源調達フェーズのプロセス</b>	<b>019</b>
5.2.1	I T資源調達フェーズのプロセス	020
	1. プロセス      2. アクティビティ	

### 第3章 I T資源調達フェーズにおける共通知識 079

5.3.1	I T資源調達フェーズにおけるプロジェクトマネジメント	080
	1. プロジェクトマネジメントのテーマ	
	2. 当フェーズにおけるプロジェクト体制と管理	
	3. 当フェーズにおけるプロジェクトマネジメントの関連知識	
5.3.2	I T資源調達フェーズにおけるモニタリング&コントロール	088
	1. モニタリング&コントロールの重要性	
	2. モニタリング&コントロールのポイント	
	3. モニタリング&コントロールの実施方法	
5.3.3	I T資源調達フェーズにおけるコミュニケーション	096
	1. コミュニケーションテーマ	
	2. コミュニケーションマネジメントの体制と管理	
	3. コミュニケーションのポイント	
	4. コミュニケーションに必要な行動やスキル	
	5. コミュニケーションの成果物	

### 第4章 I T Cに求められる知識とキーワード 105

- |                        |                    |             |                      |          |
|------------------------|--------------------|-------------|----------------------|----------|
| 1. A S P               | 2. I S O 9000シリーズ  | 3. I Tプロダクト | 4. R F I             | 5. R F P |
| 6. サービスレベル             | 7. S L A / S L M   | 8. コンポーネント  | 9. 実行メソッド ( I T導入方式) |          |
| 10. ソリューション            | 11. システム処理形態 (集中型) |             | 12. システム処理形態 (分散型)   |          |
| 13. システム処理形態 (ネットワーク型) |                    | 14. ネットワーク  | 15. ファンクションポイント法     |          |
| 16. 著作権                | 17. 知的財産権          | 18. 委任契約    | 19. 請負契約             | 20. 派遣契約 |
| 21. 瑕疵担保責任             | 22. 秘密保持義務         |             |                      |          |

# 第6巻 実現プロセス IV

## IT導入

- 1 IT導入フェーズ
- 2 IT導入フェーズのプロセス
- 3 IT導入フェーズにおける共通知識
- 4 ITCに求められる知識とキーワード

## 目 次

<b>第1章</b>	<b>I T導入フェーズ</b>	<b>001</b>
6.1.1	I T導入フェーズの重要性	002
	1. あいまいな作業分担	
	2. 軽視されるユーザー教育・研修・サポート体制	
	3. 実施されない受入検収テスト	
	4. マルチベンダーシステムでのトラブル増加	
	5. 開発範囲が不明確なパッケージ導入ではアドオン開発の山	
6.1.2	I T導入フェーズの原則	012
	1. フェーズ共通基本原則	
	2. 基本原則	
6.1.3	I T導入フェーズの概要	017
	1. 目的	
	2. 位置づけ	
	3. 要約	
	4. I T Cの役割	
<b>第2章</b>	<b>I T導入フェーズのプロセス</b>	<b>021</b>
6.2.1	I T導入フェーズのプロセス	022
	1. プロセス	
	2. アクティビティ	

### 第3章 I T導入フェーズにおける共通知識 085

6.3.1	I T導入フェーズにおけるプロジェクトマネジメント	086
	1. プロジェクトマネジメントのテーマ	
	2. I T導入フェーズにおけるプロジェクト体制と管理	
	3. I T導入フェーズにおける重要なコントロールポイント	
6.3.2	I T導入フェーズにおけるモニタリング&コントロール	094
	1. モニタリング&コントロールの概要および重要性	2. モニタリング&コントロールのポイント
	3. モニタリング&コントロールの実施方法	
6.3.3	I T導入フェーズにおけるコミュニケーション	102
	1. プロジェクトコミュニケーションテーマ	2. コミュニケーションマネジメント
	3. I T導入フェーズにおけるコミュニケーションのポイント	
	4. I Tコーディネータに必要な行動とスキル	5. コミュニケーションの成果物
	6. 適用するプロジェクトコミュニケーション	

### 第4章 I T Cに求められる知識とキーワード 111

1. ERP
2. I S O 1 2 2 0 7 / S L C P - J C F 9 8
3. R A D
4. アーキテクチャー
5. インテグレーション
6. イントラネット
7. オブジェクト指向プログラミング
8. 外部設計
9. 内部設計
10. カスタマイズ
11. グループウェア
12. 構造化分析
13. スパイラル開発
14. ダウンサイジング
15. データウェアハウス (DWH)
16. パイロット運用
17. プロトタイピング
18. マルチベンダー
19. ユニットテスト・総合受入テスト
20. リバースエンジニアリング

# 第7巻 実現プロセスⅤ

## ITサービス活用

- 1 ITサービス活用フェーズ
- 2 ITサービス活用フェーズのプロセス
- 3 ITサービス活用フェーズにおける共通知識
- 4 ITCに求められる知識とキーワード

## 目 次

<b>第1章</b>	<b>I Tサービス活用フェーズ</b>	<b>001</b>
7.1.1	I Tサービス活用フェーズの重要性	002
	1. 軽視されるユーザー継続教育・研修・サポート体制	
	2. 不十分なサービスレベルのモニタリング&コントロール	
	3. 業務運用効果の継続的評価不十分	
	4. システム保守の問題	
	5. セキュリティの問題	
7.1.2	I Tサービス活用フェーズの基本原則	012
	1. フェーズ共通基本原則	
	2. 基本原則	
7.1.3	I Tサービス活用フェーズの概要	019
	1. 目的	
	2. 位置づけ	
	3. 要約	
	4. I T Cの役割	
<b>第2章</b>	<b>I Tサービス活用フェーズのプロセス</b>	<b>023</b>
7.2.1	I Tサービス活用フェーズのプロセス	024
	1. プロセス	
	2. プロセスの詳細	
	3. I Tサービス活用フェーズのマネジメント機能	
<b>第3章</b>	<b>I Tサービス活用フェーズにおける共通知識</b>	<b>093</b>
7.3.1	I Tサービス活用フェーズにおけるプロセス&プロジェクトマネジメント	094
	1. プロセス&プロジェクトマネジメントのテーマ	
	2. 当フェーズにおけるプロジェクト体制と管理	
	3. 当フェーズのプロセス&プロジェクトマネジメントの主要要件	
7.3.2	I Tサービス活用フェーズにおけるモニタリング&コントロール	102
	1. モニタリング&コントロールの重要性	
	2. モニタリング&コントロールのポイント	
	3. モニタリング&コントロールの実施方法	
7.3.3	I Tサービス活用フェーズにおけるコミュニケーション	111
	1. コミュニケーションマネジメントのテーマ	
	2. コミュニケーションマネジメント	
	3. 当フェーズにおけるコミュニケーションのポイント	
	4. I Tコディネータに必要な行動やスキル	
	5. コミュニケーションの成果物	

1. ITIL
2. TCO
3. アウトソーシング/アウトソーサー
4. アップグレード
5. インターネット技術
6. インフラ
7. カットオーバー
8. クライアントサーバー技術
9. セキュリティ
10. セキュリティシステム (暗号化)
11. セキュリティシステム (ウイルス対策)
12. セキュリティシステム (ネットワーク監視)
13. セキュリティシステム (ファイアウォール)
14. セキュリティシステム (ユーザー認証)
15. バージョン
16. ハウジング
17. ホスティング
18. バックアップ
19. リカバリー
20. ヘルプデスク
21. ライセンス
22. リリース
23. レスポンスタイム

## 第8巻 IT経営共通プロセス

- 1 プロセス&プロジェクトマネジメント
- 2 モニタリング&コントロール
- 3 コミュニケーション
- 4 プロジェクトマネジメントの知識

## 目 次

<b>第1章</b>	<b>プロセス&amp;プロジェクトマネジメント</b>	<b>001</b>
8.1.1	プロセス&プロジェクトマネジメントの概要	002
	1. 目的      2. 位置づけ      3. 定義      4. I T C の役割	
8.1.2	プロセス&プロジェクトマネジメントの基本原則	008
	1. 基本原則      2. I T C のプロセス&プロジェクトマネジメントの活動のポイント	
8.1.3	プロセス&プロジェクトマネジメントのプロセス	021
	1. プロセス      2. プロセスの詳細	
8.1.4	I T コーディネータのプロジェクトマネジメントの対象	029
	1. 立ち上げのプロセス      2. 計画のプロセス      3. 実行のプロセス	
	4. コントロールのプロセス      5. 完了のプロセス	
8.1.5	I T コーディネータに必要なプロジェクトマネジメントの知識	035
	1. プロジェクト統合マネジメント      2. プロジェクト範囲のマネジメント	
	3. プロジェクト時間マネジメント      4. プロジェクトコストマネジメント	
	5. プロジェクトクオリティマネジメント      6. プロジェクト人材マネジメント	
	7. プロジェクトコミュニケーションマネジメント      8. プロジェクトリスクマネジメント	
	9. プロジェクト調達マネジメント	
<b>第2章</b>	<b>モニタリング&amp;コントロール</b>	<b>047</b>
8.2.1	モニタリング&コントロールの概要	048
	1. 目的      2. 位置づけ      3. 定義      4. I T C の役割	
	5. モニタリング&コントロールの対象	
8.2.2	モニタリング&コントロールの基本原則	054
	1. 基本原則      2. I T C のモニタリング&コントロール活動のポイント	
8.2.3	モニタリング&コントロールのプロセス	069
	1. プロセス      2. プロセスの詳細	
8.2.4	I T コーディネータのモニタリング&コントロールマネジメントの対象	075
	1. ビジネス活動・成果のモニタリング&コントロール	
	2. I T 化活動・成果のモニタリング&コントロール	
8.2.5	I T コーディネータに必要なモニタリング&コントロールの知識	090
	1. 内部統制とモニタリング&コントロール      2. 内部統制の必要性和歴史的背景	
	3. 内部統制を構成する要素      4. モニタリング&コントロールのイメージ	
	5. モニタリング&コントロールの種類      6. フェーズ別モニタリング&コントロール	

<b>第3章</b>	<b>コミュニケーション</b>	<b>101</b>
8.3.1	コミュニケーションの概要	102
	1. 目的      2. 位置づけ      3. 定義      4. ITCの役割	
8.3.2	コミュニケーションの基本原則	106
	1. 基本原則      2. ITCのコミュニケーション活動のポイント	
	3. 人間のリレーション（関係性）を構築する4つの基本プロセス	
8.3.3	コミュニケーションのプロセス	129
	1. プロセス      2. プロセスの詳細	
8.3.4	ITコーディネータのコミュニケーションマネジメントの対象	135
	1. コミュニケーションの重要性      2. プロジェクトコミュニケーションの4つのプロセス	
8.3.5	ITコーディネータに必要なコミュニケーションの知識	143
	1. コミュニケーションの概説      2. コミュニケーションスキル      3. コミュニケーションツール	
<b>第4章</b>	<b>プロジェクトマネジメントの知識</b>	<b>151</b>
8.4.1	IT経営実現プロセスとプロジェクトマネジメント	152
	1. ステイクホルダーの関係      2. プロジェクトの5つのプロセス	
	3. プロジェクトマネジメントの関連知識      4. ステイクホルダーとプロジェクト	
	5. ステイクホルダーとプロジェクトマネジメント      6. プロジェクトの5つのプロセスの関連知識	
8.4.2	プロジェクトマネジメント全般	165
	1. PMBOK™      2. ステイクホルダー      3. プロセスオーナー	
8.4.3	プロジェクト範囲のマネジメント	169
	1. WBS      2. プロジェクト憲章      3. 責任分担表	
8.4.4	プロジェクトコミュニケーション/時間/コストマネジメント	173
	1. AC      2. BC      3. PV      4. EVM	
	5. アーンドバリュ分析      6. 差異分析      7. パフォーマンス分析	
8.4.5	プロジェクト時間マネジメント	178
	1. ガントチャート      2. CPM      3. ネットワークロジック図	
	4. Network Analysis      5. PERT      6. GERT      7. ADM法	
	8. PDM法      9. Logical Relationship      10. PERT図	
8.4.6	プロジェクトクオリティマネジメント	184
	1. QFD      2. VA      3. VE      4. 統計的品質管理手法      5. パレート図	
8.4.7	プロジェクトリスクマネジメント	188
	1. デシジョンツリー分析      2. トレンド分析	

## 第9巻 リファレンス

- 1 リファレンス（リファレンスモデル）
- 2 経営のリファレンス
- 3 IT化のリファレンス

## 目次

<b>第1章</b>	<b>リファレンス（リファレンスモデル）</b>	<b>001</b>
9.1.1	リファレンス（リファレンスモデル）とは	002
9.1.2	I Tコーディネータとリファレンス	004
9.1.3	I T経営実現プロセスで活用できるリファレンスモデルとツール	006
	1.経営戦略フェーズ      2.I T戦略策定フェーズ      3.I T資源調達フェーズ	
	4.I T導入フェーズ      5.I Tサービス活用フェーズ	
9.1.4	成熟度（モデル）	016
	1.成熟、成熟度、成熟度モデルとは      2.企業経営と成熟度      3.I T経営の成熟度	
9.1.5	成熟度の分類と成熟度モデル	021
	1.各種経営品質賞      2.COBIT      3.SPA      4.CMMI	
<b>第2章</b>	<b>経営のリファレンス</b>	<b>025</b>
9.2.1	MB賞と世界の経営品質賞	026
9.2.2	日本経営品質賞	028
	1.日本経営品質賞とは      2.アセスメント基準      3.セルフアセスメントの手順	
	4.審査の着眼点      5.I T経営プロセスと日本経営品質賞	
9.2.3	ベストプラクティスとベンチマーキング	036
9.2.4	経営の成熟度：簡易アセスメント	038
9.2.5	ビジネスエクセレンスモデル	040
9.2.6	APQCビジネスプロセスモデル	043
<b>第3章</b>	<b>I T化のリファレンス</b>	<b>047</b>
9.3.1	I T化の成熟度	048
	1. I T化の成熟度の意義      2.成熟度モデルの種類と利用法	
	3.CMMI      4.COBIT      5.SPA（ISO/IEC TR15504）	
9.3.2	ビジネスプロセスモデルの策定	058
	1.ビジネスプロセスモデル作成のポイント      2.ファンクション分析	
	3.DMMを使ったファンクション分析      4.DFDによる現状プロセスモデルの作成	
	5.BPRを考慮したあるべき姿のビジネスプロセスモデル作成	
	6.ジェネリックビジネスプロセスモデル      7.基幹業務、経営資源、企画・モニタリング	

9.3.3	コントロールの概念	078
	1.コントロールとITシステム	
	2.顧客満足度と経営のコントロール	
	3.コントロール目標の役割	
	4.コントロール目標設定シート	
	5.コントロール目標設定上の注意点	
	6. コントロール目標とバランススコアカード	
	7.縦と横のPDCAサイクル	
9.3.4	情報モデル	088
	1.情報モデルとは	
	2.ジェネリック情報モデル	
	3.エンティティ	
	4.抽象化	
	5.抽象化はなぜ必要か	
	6.各ジェネリック情報モデルの説明	
9.3.5	IT経営プロセスとEA	108
	1.EAとは	
	2.EAの体系	
	3.EAのリファレンスモデル	
	4.EAの成果物とIT経営プロセス	
	5.RFPへの活用	

# 第10巻 中堅・中小企業の 経営改革

- 1 経営改革概論
- 2 経営改革立ち上げ
- 3 計画プロセス
- 4 経営改革の実行・モニタリングと完了報告

## 目 次

<b>第1章 経営改革概論</b>	<b>001</b>
10.1.1 経営改革の概要	002
1. 経営改革の重要性	
2. 経営改革におけるITコーディネータの役割	
10.1.2 経営改革のプロセス	004
1. 立ち上げ	
2. 計画	
3. 実行	
4. 統制、モニタリング	
5. 完了	
10.1.3 リストラクチャリングとBPR	006
10.1.4 企業間競争の激化	008
10.1.5 ベンチマーキング手法	010
1. アメリカ企業を復活させたベンチマーキング	
2. ベンチマーキングの意義	
3. ベンチマーキングの種類	
4. IBCのビジネスプロセス	
5. ベンチマーキングの導入手順	
6. ベンチマーキングでよく使用される分析手法	
7. ベンチマーキングの留意点	
10.1.6 バランススコアカード（BSC）	029
1. 業績をドライブする指標BSC	
2. BSCの基礎となる4つの視点	
3. 3つの指標（結果指標、重要業績指標、先行指標）	
4. 4つのバランス経営要素	
5. 組織変革フレームとしてのBSC	
6. 戦略マッピングで事業戦略を描き出す	
10.1.7 21世紀に生き残るための成功要因	042
1. 他社との協調性に富む	
2. 環境に注意を向ける	
3. 経験と情報から学習する	
4. 革新的ソリューションを開発する	
5. 状況の変化に適応する	
6. 成長するナレッジ・ベースを構築する	
7. 多様性を理解する	
8. 資源の適切な選択と活用	
<b>第2章 経営改革立ち上げ</b>	<b>049</b>
10.2.1 「立ち上げプロセス」の作業タスク	050
10.2.2 経営改革方針の決定	050
1. 経営管理・業績評価制度システム診断	
2. 経営改革方針の決定	
10.2.3 DFDとERDの作成	054
1. DFDの作成	
2. ERDの作成	
10.2.4 経営改革遂行体制の確立	056
1. プロジェクト体制	
2. 複数企業がプロジェクトに関わる場合	
10.2.5 経営改革企画書の作成と承認	059

<b>第3章</b>	<b>計画プロセス</b>	061
10.3.1	「計画プロセス」の作業タスク	062
	1. スコープ計画      2. スコープ/ アクティビティの定義      3. スケジュール作成	
	4. 予算計画      5. プロジェクト計画の策定	
10.3.2	チェンジマネジメント計画	066
	1. 変革プロジェクトの15の原則      2. 経営改革への抵抗を軽減させる	
	3. 経営改革のリーダーシップ	
10.3.3	意識改革とコミュニケーション計画	072
	1. 最高経営陣      2. 経営幹部      3. 中間管理職      4. 第一線の監督者	
	5. 一般社員      6. 株主、投資家、供給企業、販売代理店	
10.3.4	経営改革企画書（アクションプラン）の作成	076
	1. 中長期経営計画がない場合は部門方針から出発する      2. 部門別BSCと全社BSCの作成	
	3. スコアカードの調整      4. 業績評価と報酬	
10.3.5	経営改革企画書（アクションプラン）の作成と承認	082
<b>第4章</b>	<b>経営改革の実行・モニタリングと完了報告</b>	085
10.4.1	モニタリング方針の決定	086
	1. モニタリング評価指標の選定      2. IT化投資を伴うBPRのモニタリング指標	
10.4.2	モニタリング実施体制の確立	092
	1. モニタリングスポンサー/ オーナー      2. ステアリングコミッティ（運営委員会）	
	3. モニタリングリーダー      4. 参謀役（世話役：事務局）      5. メンバー	
10.4.3	モニタリング実施計画書の作成	094
10.4.4	経営改革の実行	096
	1. 経営改革実行の作業タスク      2. 関係者に変革カーブを曲がらせる      3. 障害・抵抗への対応	
10.4.5	経営改革活動のモニタリング	102
	1. 活動についてのモニタリング      2. 成果についてのモニタリング	
	3. モニタリング報告書の作成	
10.4.6	経営改革活動の完了報告	108
	1. 経営改革完了報告書の作成      2. 次期プロジェクトへのフィードバック	
	参考文献一覧	113